

えびはら直矢市政報告

発行人
海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>



2020年5号
2020.6.8



6月定例会がスタート 提案された補正予算額は4.2億円

新型コロナウイルス感染症対策に関連する予算などを審査

6月8日から、令和2年度6月定例会がスタートしました。今回は新型コロナウイルス感染症対策などを盛り込んだ補正予算などの審査を行っていきます。

今回の補正予算では、私たちの会派が要望してきた保育所・学童保育所の登園・登所自粛要請に基づく保護者への保育料の返還のための予算や、離職などにより経済的に困窮し、住居確保給付金の支給対象者が拡大したことを受けた給付金の増額、医療機関などの配布要請に対応するため不織布マスクの購入など、新型コロナウイルス感染症に関連する事業に必要な予算が計上されています。

さらに、厳しい社会経済を踏まえて市長、副市長、教育長の給与を減額支給する「市長等の給与の特例に関する条例」などについても審査を行います。これに先立って5月22日には、議会としても常任委員会視察や議会運営委員会視察などの予算の執行を見送ることで約650万円を捻出し、新型コロナウイルス感染症対策として活用していただくよう市長に申し入れを行いました。

その他にも、市がこの間行った独自事業などの専決処分についても各委員会で審査をします。迅速な対応が求められるのは当然ですが、きちんとしたチェックが求められることもまた当然であると考えます。議会の役割についても考えながら、今定例会に臨んでいきます。



キーワード

住居確保支援金

住居を失ったりその恐れがある方の支援のために支給される支援金。今回の新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、「休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にある方」に対象が拡大されました。

詳しくは市HP (<https://www.city.ageo.lg.jp/page/120119030702.html>) をご確認ください。



データでみる

6月補正予算案

■新型コロナウイルス感染症関係の予算

保育所の保育料の返金	1058.6万円
学童保育料の返金	2466万円
住居確保支援金の増額	1930.2万円
不織布マスクの購入	132万円
ワンストップ窓口の運営	591.2万円
児童生徒各1台のタブレットPC整備	5379.2万円

第二波に備えた施策を提案

今回の一般質問では、主に新型コロナウイルス感染症の第二波に備えるため、子どもや子育て世代などに直接影響のある学校休業時の対応や保育のあり方について、これまでの対応に対する見解を質すとともに、必要な施策を提案する予定です。

6月定例の一般質問で質問予定の内容

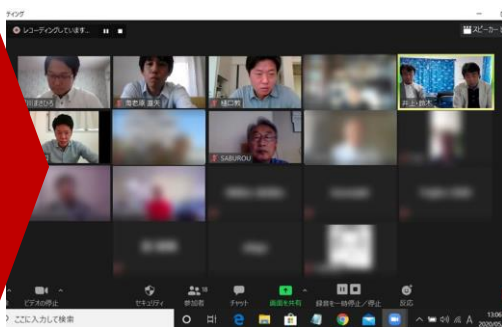
学校休業中の対応と子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校休業期間中の児童虐待対策 ・学校受け入れにおいて「昼食持参」「保護者による送迎」が必要であることへの見解 ・特別支援学校に通う子どもの学校受け入れ ・休業明けの健康診断や栄養状況の確認の必要性 ・子ども食堂との連携の必要性
病児保育をはじめとした保育のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態措置下で病児保育の利用が少なかった理由についての見解 ・自粛期間における必要な保育の提供 ・子育て世代の意向調査の必要性 ・しらこぼと保育所の休所による保護者の不安などの解消
ダイバーシティ施策	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ制度の整備 ・性的マイノリティ市民を対象とした相談事業の開始 ・外国人市民への情報発信と当事者団体との連携
自然環境保護	<ul style="list-style-type: none"> ・台風による三ツ又沼ビオトープの木道への被害 ・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会への加入 ・丸山公園大池のかいぼり後のあり方

6月19日（木）10:45 頃より

（今回はタイムテーブル制ではないため時間はあくまで目安となります。）

大変恐縮ですが、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴の自粛をお願いしておりますので、ぜひ上尾市議会スマート中継 (<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/>) でご覧ください。

活動報告



2020年5月30日 初めてのオンライン市政報告会を開催

会派『政策フォーラム・市民の声あげお』として市政報告会を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として初めてZoomを活用してオンラインで開催をしました。難しい環境のなかではありますが、市民の皆さんとともに課題に取り組んでいくため、出来る限りの努力をしていきます。

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3生まれ。
 ●上智大学法学部卒
 ●首都大学東京社会人類学教室修了。
 国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在も子どもの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体の運営に携わっている。2017年上尾市議会議員に初当選（現在2期目）。
 家族：妻、長男、長女、次男